

研究課題名	COVID-19 パンデミックが整形外科患者 ADL や筋量へ及ぼす影響の検証
研究の意義・目的	COVID-19 流行により外出や集会への参加が制限されるなど、生活様式が変化した人が増加したと考えられる。整形外科に通院している高齢者の方にとって、外出などが制限されることは運動の機会が減少することにつながり、それが生活活動度や筋力の低下につながっていくと考えられます。本研究では整形外科通院患者様にアンケートをとり、COVID-19 流行前後における生活様式の変化と活動度の変化を調査します。その結果とカルテ記載情報、画像所見などを総合的に検討し、COVID-19 流行による生活活動度変化の影響や、活動を低下させない生活様式（運動）を見つけ出し、高齢者の方に自宅で行うべき生活様式（運動）を推奨することが可能となるかもしれません。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	倫理委員会終了後 1 ヶ月間の間に大阪市立大学医学部附属病院の整形外科に通院されている患者様が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	整形外科外来でアンケート配布します アンケートで得られた結果と身長や体重、既往症などのカルテ記載内容、単純レントゲン写真や MRI、CT などの画像情報を本研究に使用させていただきます。
試料・情報の他機関への提供	このアンケートは大阪市立大学医学部附属病院、しまだ病院、西宮渡辺病院、白庭病院、石切生喜病院で行いますが、アンケート結果の集計と解析は大阪市立大学医学部附属病院 整形外科で行い他の機関へは提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	しまだ病院 【研究責任者】しまだ病院 整形外科（非常勤）氏名：玉井 孝司 白庭病院 【研究責任者】白庭病院 整形外科（非常勤）氏名：星野 雅俊 西宮渡辺病院 【研究責任者】西宮渡辺病院 整形外科（非常勤）氏名：高橋 真治 石切生喜病院 【研究責任者】石切生喜病院 整形外科（非常勤）氏名：薮 晋人
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 寺井秀富
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 メールアドレス： <a href="mailto:seikei@med.osaka-cu.ac.jp">seikei@med.osaka-cu.ac.jp</a> (担当者氏名) 玉井孝司、高橋真治 電話番号：(06) 6645-3851